

希望坂(北中だより)

第11号 令和2年9月25日

みやき町立北茂安中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標

「知性・感性・耐性」を
自らたかめる生徒の育成

〒849-0113 みやき町大字東尾 4435

TEL:0942-89-2008 Fax:89-2079



◇地区中体連新人大会・駅伝大会にむけて◇

9月26日(土)に三養基地区中学校新人体育大会が行われます。また、10月8日(木)には三養基地区中学校駅伝大会が行われる予定です。どちらも夏の中体連大会に準拠し、新型コロナウイルス感染や熱中症への対策を行いながらの開催です。

それらの大会出場者への激励のために、9月23日(水)に選手推戴式を行いました。式では、選手を代表して剣道部2年の弓翔太君が「失敗を恐れず、チームワークを大切に戦います。」と堂々と選手宣誓をしました。その後各チームが大会に向けたそれぞれの抱負を述べ、激励の拍手を受けました。また、生徒の代表として、部活動を引退した3年生の宮原透羽君が「緊張すると思いますが、失敗を恐れず競技してください。」と応援の言葉をかけていました。

校長の言葉では、以下のような話をしました。

「新チームになって約2か月、あっという間に新人大会が来ました。夏の大会で3年生とともに汗を流し、先輩の悔しい思いを身近に感じた人もいたことでしょう。その思いをエネルギーに変えて、存分に戦ってきてください。」

今年は特に新型コロナウイルスによる各種の大会が中止となり、試合をする機会が減っています。そのなかでも中体連の大会については、多くの皆様のご理解により、開催できます。試合の経験ができることにも感謝の心もちたいですね。

駅伝のチームは、先週からの朝練習、お疲れ様です。今年度は各校1チームのみの出場と、コロナ禍による大会縮小を余儀なくされましたが、長距離の専門ではない多くの部活動の生徒が自発的に大会にチャレンジしていることに、感動を覚えます。それは自己の能力へのチャレンジだと思います。選手・補員になった人は、存分に練習の成果を発揮してきてください。

全米オープンテニスの車いすテニスの部で優勝した国枝慎吾氏は、一度は「国枝の時代は終わった」と言われながらも36歳にして、今年度の全豪オープン、全米オープンと連続して優勝をしました。4大会で24回の優勝を誇るレジェンドは、『それでもまだ、自分は進化できる。』と言っています。みんなに国枝さんのようになれとは言いませんが、闘志や執念をもって試合に臨んでほしいと思います。

また、大会参加にあたっては、マナー面でも勝ってきてください。挨拶、整理整頓、履物そろえなど、スポーツをする者として恥ずかしくないマナーで、試合場以外でも実力を発揮してください。健闘を祈ります。」



◇新人大会◇9月26日(土)

- ・軟式野球 8:30 中原球場
- ・バスケットボール 女子9:50 男子11:10と13:10 北茂安中
- ・卓球 男子8:30 上峰体育センター 女子8:30 江口体育館
- ・剣道男女 個人9:00 団体10:40 中原武道館
- ・サッカー 8:30 三根中
- ・バレーボール 9:00 上峰中

※参加生徒は、保護者の同意書、体調チェック票提出が必要

※参観者は、チームの観客名簿に事前登録が必要

◇駅伝大会◇10月8日(木)

- ・場所 吉野ヶ里歴史公園内コース
- ・時間 女子スタート10:30
男子スタート11:30
- ・チーム数 各学校 1チームのみ
- ・県大会 地区の1位のみが参加
11月6日 福富マイルド

※参加生徒は同意書・チェック票提出

※参観者の立ち入り禁止区域あり

◇1年 白石焼体験◇

1学期から始まった1年生の白石焼体験も、いよいよ終盤です。9月17日(木)の④⑤⑥校時に、学級ごとに釉薬をかける作業をしました。毎年お世話になっている鮎川裕樹先生には、3色の釉薬を準備いただきました。素焼きの作品が、どんな色合いに変化をするか、とても楽しみになりました。



◇2年 性に関する講話◇



9月24日(木)の5校時に2年生を対象とした佐賀県の事業「性に関する教育講話」を行いました。講師は、山田産婦人科の助産師である入江紀子先生でした。「思春期の体や心の変化」「様々な性について」「妊娠について」「性感染症とは」「いのちについて」という内容で、わかりやすく説明していただきました。

冒頭に出産に関する映像がありました。「本当に赤ちゃんが生まれてよかった。」と涙される父親と母親の姿を、生徒は真剣に見ていました。「生まれること、生きること」の素晴らしさを根底において、「性」について考えることが大切だと、改めて考えさせられました。「生徒の授業態度がとても良かった。」と入江先生がほめられていました。

◇授業におじゃま その1◇

9月17日(木)①校時の美術室は、誰もいないかのようにシーンとしています。入ってみると、3年2組のクロッキーの授業があっっていました。モデル役の生徒が2人、ポーズをとったままです。描く生徒たちは、指定された時間内に終えようと、かなりの集中力を発揮していました。

江口あゆみ教諭の指示が時折響きます。「対象を見る時間と描く時間では、見る時間を長くするんですよ。紙ばかり見ているとだめですよ。」生徒は、スカートのひだやシャツのしわの線をじっくり見て、鉛筆を動かします。

黒板に目をやると、そこにはたくさんのクロッキーの参考例が貼られていました。形の取り方や線の入れ方をまねできるようにしてあります。そして、本時のめあて「ポイントを押さえて友達をクロッキーしよう！」の下には5つのポイントが示されています。

- ① 画面いっぱい大きく描く。
- ② 部分と全体のバランスをとって描く。
- ③ 塗りつぶさず線のみで描く。
- ④ 間違えても気にしない(消しゴム使用不可)
- ⑤ 重なりに注意して描き順を意識する



明確な指示とゴールの設定が学習を引き締める、よい授業でした。

◇授業におじゃま その2◇

6月24日(木)の①校時には3年1組の国語の授業にお邪魔しました。担当は戸高宏樹教諭です。めあては、「自分の主張に説得力をもたせて相手に伝えよう」であり、合意形成のための言語活動でした。

議論のテーマは、「GOTO キャンペーンに賛成か反対か」。主張に説得力を持たせるために、事前にメディアを活用してデータの収集も行っていました。「コロナうつ」「医療」「経済」「トラブル」「災害避難」など、いろんな視点からの意見が飛び交い、活発なディベートになっていました。

戸高教諭のチャレンジングな授業づくりだと感心しました。なかなか答えの見出せない問題について、お互いが理解できるように「最適解」を引き出して合意を形成すること、これは本当に今後ますます必要となる能力だと思います。

結論がどう収まるのか、次の時間が気になる展開でした。



◇今後の予定◇

- 9月 26日地区中体連新人大会(27日予備日)
- 10月 1日教育相談月間開始
- 6日中間テスト(～7日)
- 8日地区中体連駅伝大会
- 12日全校集会
- 13日地区英語暗唱大会
- 14日3年 SAGA テスト(～15日)
- 15日脊柱検査(全学年)